



学校保健・給食委員会だより

令和4年度 特別号 峰小学校 保健室



ひと
おうちのひと
いっしょに読みましょう。

今年度の学校保健・給食委員会は、12月9日に開催いたしました。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催ではありましたが、お集まりいただいた学校医、学校歯科医、学校薬剤師、委員の皆様と、本校の食育、体力、健康について研究・協議を行いました。

最初に、学校から峰小の実情を報告、質疑応答ののち、最後に参加者の皆様からのご意見・ご感想をいただきました。また、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方にはご指導・ご助言もいただきました。

教職員には資料を回覧し、周知するとともに、感想等いただきましたので、一部を抜粋してご紹介させていただきます。



～ ご意見・ご感想 ～ (保護者)

食育・給食指導について

- ・前向きでの黙食という状況でも、子どもたちが楽しめる工夫や、食に興味を持てるように働きかけてくださって、ありがとうございます。



児童の体力について

- ・健康体力チェックで、全体的に全国平均を下回っているというのは意外でした。スポ少などを頑張っている子も多いですし、休み時間も活発に走り回っている子たちを見かけます。
- ・長縄大会で、運動を積極的に行うことは良いと思った。子どもも家で楽しそうに話をしていた。
- ・校庭で遊んでいる子も多い。
- ・家が近い子は、持久力がない気がする。自分の子どもがそう感じる。



児童の健康について

- ・新型コロナウイルス感染者について、他の学校の学級閉鎖の話をたくさん聞く中でも、峰小の感染者数は少ないと思います。子ども達、先生方がしっかり気を付けて学校生活を送っているからだ感謝します。

(教職員)

- ・まだまだコロナ対策が必要だと感じた。その中で、食育や給食でできることを今後もやっていきたい。
- ・給食の時間はコロナ対策をしながらも、特別メニューや行事食など、楽しい時間になっている。
- ・感染症対策を行いながら、食の大切さや楽しさを伝えていきたい。
- ・給食指導でも感染症対策を継続していきたい。

元気っこ健康体力チェックの結果、本校は全体的に全国平均を下回る結果となりました。運動委員会を活用して運動に親しめる取り組みを行いながら、運動の機会を増やしていこうと思います。

- ・児童の体力向上に努めていく必要がある。
- ・体力向上に力を入れていきたい。
- ・体力が全体的に全国平均より下回っているため、休み時間には外で遊ぶよう声をかけていきたい。
- ・各調査結果で平均値を下回っているものに関しては、学級でも声かけや指導をしていきたい。
- ・感染症対策や健康、体力増進の対策を学級でも改めて行っていきたい。

- ・一人一台端末の利用も視力低下につながらないように使い方に配慮していきたい。
- ・視力B以下の児童が多く、家庭との連携強化が必要だと思った。
- ・視力低下がみられるとのことで、本を読む時の姿勢など注意していきたい。
- ・with コロナに転換しながらも、今後も感染症対策に努めたい。

本校の裸眼視力Aの児童の割合は全国平均と比べても著しく低いです。学校園共通の保健指導に取り組んでいるところではありますが、ご家庭でもスマホやタブレットなどの使い方について話し合っ
ていただければと思います。



- ・コロナ対策、ICTの活用等々、子どもたちの生活に影響を与えるものがたくさんあるが、課題を整理して、より良い生活の在り方が見出せると良い。
- ・引き続き感染症対策を行いながらも、児童の思いも大切にして充実した学校生活となるよう努めたい。
- ・今後も感染予防に努めながら、子どもたちを第一に考え、教育活動を行っていきたい。
- ・感染症対策を行いながらも、効果的な学習、楽しい学校生活を続けていきたい。
- ・感染症対策を取りつつも、コロナ前の活動を工夫しながらできるようにしていきたい。

～ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師からの意見・指導・助言 ～ (学校耳鼻科医 菅原先生)

- ・コロナは終息しないだろう。変異を繰り返して生き残る。
- ・基本を守ることが大切。
- ・「3密を避けること、長居・長話はしない、家族間での感染を防ぐ」

- ・対面での給食は、コロナ感染予防のため、やめたほうが良い。前向き給食は効果的。
- ・学校との距離体力に関係していると思う。歩いたり、運動したりすることが大切。

菅原先生自身の経験からも、向かい合わない食事を推奨していました。

(学校歯科医 坂入先生)

- ・歯科検診では特定の児童のむし歯が多い。保護者のネグレクトの疑いもあるので、先生からも声かけを。
- ・マスクで感染症は75%防げるため、マスクの着用は続けてほしい。
- ・マスクをしていると口を開けたままになってしまう人が多い。口が開いていると、口からウイルスなどが体内に入るので、感染症に感染しやすくなる。また、アレルギー性鼻炎にもなりやすい。そして、歯並びも悪くなる。口が乾燥してむし歯は確実に増える。口を閉じて生活することが大切。

(学校薬剤師 山口先生)

- ・マスクを外したら会話はしない。会話するときはマスクをして。
- ・コロナウイルスは夏季でも出ている、今までのウイルスは冬季に感染者が増えるのが特徴だった。コロナは経験したことのないウイルス。使える薬も出てきたので少しずつ治まってくるだろう。
- ・食事で免疫力を上げることも大切。
- ・ワクチンは、効き目があるから一つの方法として良い。
- ・海外から人が入ると、インフルエンザなどのウイルスも入ってくる。人の移動が多いとコロナ感染者も増える。苦しい状況は続くだろう。

貴重なご意見ご感想ありがとうございました。ご意見・ご感想、ご指導・ご助言いただいたことは、教職員で共有し、今後の指導等に生かしていければと思います。

